

## 履修モデル

### 医療分野で活躍する薬剤師をめざす

想定される具体的な進路・職種	病院薬剤師、薬局薬剤師など
----------------	---------------

薬学部では全国薬系大学で定められている薬学教育モデル・コアカリキュラムを基本として幅広い知識を身に付けるためのカリキュラムを編成しています。薬剤師倫理教育科目・薬学準備教育科目・基礎薬学教育科目・薬学専門教育科目・統合型薬学教育科目・実務実習教育科目・薬学研究教育科目・語学（英語）教育科目を学習することによって、薬学の確かな知識・技能だけでなく、豊かな人間性と倫理観を身に付け、高度な専門知識や臨床技能を有する薬剤師や、特定分野に深い専門性を有する薬剤師をめざす人のための履修モデルです。

●：選択科目   ●：選択必修科目   ●：必修科目

区分		授業科目					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
全学 共通 教育部 門	健康とスポーツ科学	●健康・スポーツ科学 I ●健康・スポーツ科学 II					
	統合型薬学教育部門	●薬学入門 I ●薬学入門 II			●薬物治療学 ●文献講読セミナー ●基礎薬学総論 ●実務実習事前講義・演習		
	基幹科目群	●物理科学 I ●基礎化学 II ●有機薬化学 I ●機能形態学 I ●機能形態学 II ●生化学 I	●物理化学 II・III ●薬用植物と生薬 ●有機薬化学 II・III ●構造解析学 ●機能形態学 III ●免疫学 ●生化学 II・III ●薬物動態学 I ●基礎薬学英語 I ●生理活性分子 ●薬局方試験法 ●製剤学 I ●医薬資源化学 ●分析化学 ●微生物学 ●疾患と治療 II	●薬物動態学 II ●臨床微生物学 ●製剤学 II ●医薬品情報 ●生物有機化学 ●製剤開発論 ●感染予防学 ●製剤設計学 ●公衆衛生学 ●医療法規 ●衛生化学 I ●衛生化学 II ●基礎薬学英語 II ●薬の効き方 I ●薬の効き方 II	●薬物投与設計 ●和漢医薬学		

区分	授業科目					
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●分子生物学 I・II</li> <li>●環境科学</li> <li>●医療制度論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●疾患と治療 II・III・IV</li> <li>●薬剤学</li> <li>●医薬品化学</li> </ul>			
実習科目群		<ul style="list-style-type: none"> <li>●化学系基礎実習</li> <li>●生物系基礎実習</li> <li>●化学系応用実習</li> <li>●分析系基礎実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物系応用実習</li> <li>●物理系基礎実習</li> <li>●物理系応用実習</li> <li>●分析系応用実習</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●実務実習 I・II</li> </ul>	
臨床系科目群		<ul style="list-style-type: none"> <li>●臨床心理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●臨床コミュニケーション</li> <li>●栄養学</li> <li>●病態栄養学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護・看護・緩和医療</li> <li>●臨床倫理学</li> </ul>		
演習科目群		<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎薬学演習 I</li> <li>●基礎薬学演習 II</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎薬学演習 V</li> <li>●基礎薬学演習 VI</li> </ul>			
薬学準備教育部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎統計学</li> <li>●基礎物理学</li> <li>●基礎化学 I</li> <li>●基礎生物学</li> </ul>					
薬学アドバンスト教育部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カルテを読む</li> <li>●臨床薬局学 I</li> <li>●臨床薬局学 II</li> <li>●救命救急・院内感染予防</li> <li>●インターンシップ</li> <li>●臨床栄養療法学</li> </ul>					
薬学研究科目群					<ul style="list-style-type: none"> <li>●臨床薬物治療学</li> <li>●臨床薬物動態学</li> <li>●臨床病態制御学</li> <li>●臨床医薬品情報学</li> <li>●医療英語コミュニケーション</li> </ul>	
応用薬学科目群						<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療の最前線</li> </ul>

区分	授業科目					
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
						●薬剤師の専門性
総合薬学教育部門					●薬学卒業研究	●薬学卒業研究・演習 ●薬学特別講義
関連教育部門						

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

### 製薬分野で活躍する薬剤師をめざす

想定される具体的な進路・職種	学術部門、医薬情報担当者（MR）など
----------------	--------------------

薬学部では全国薬系大学で定められている薬学教育モデル・コアカリキュラムを基本として幅広い知識を身に付けるためのカリキュラムを編成しています。薬剤師倫理教育科目・薬学準備教育科目・基礎薬学教育科目・薬学専門教育科目・統合型薬学教育科目・実務実習教育科目・薬学研究教育科目・語学（英語）教育科目を学習することによって、薬学の確かな知識・技能と豊かな人間性と倫理観を身に付けます。医療関係者や患者に迅速かつ正確にそのニーズに応じて専門化された医薬品情報を提供する薬剤師や、医薬品の有効性および安全性に関する情報を医療の現場から収集する薬剤師をめざす人のための履修モデルです。

●：選択科目 ●：選択必修科目 ●：必修科目

区分	授業科目					
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
全学共通教育部門	●健康・スポーツ科学 I ●健康・スポーツ科学 II					
専門薬学教育部門	●薬学入門 I ●薬学入門 II			●薬物治療学 ●文献講読セミナー ●基礎薬学総論 ●実務実習事前講義・演習		
基幹科目群	●物理科学 I ●基礎化学 II ●有機薬化学 I ●機能形態学 I ●機能形態学 II	●物理化学 II・III ●薬用植物と生薬 ●有機薬化学 II・III ●構造解析学 ●機能形態学 III	●薬物動態学 II ●臨床微生物学 ●製剤学 II ●医薬品情報 ●生物有機化学 ●製剤開発	●薬物投与設計 ●和漢医薬学		

区分	授業科目					
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生化学 I</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●免疫学</li> <li>●生化学 II・III</li> <li>●薬物動態学 I</li> <li>●基礎薬学</li> <li>●英語 I</li> <li>●生理活性分子</li> <li>●薬局方試験法</li> <li>●製剤学 I</li> <li>●医薬資源化学</li> <li>●分析化学</li> <li>●微生物学</li> <li>●疾患と治療 II</li> <li>●分子生物学 I・II</li> <li>●環境科学</li> <li>●医療制度論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感染予防学</li> <li>●製剤設計学</li> <li>●公衆衛生学</li> <li>●医療法規</li> <li>●衛生化学 I</li> <li>●衛生化学 II</li> <li>●基礎薬学</li> <li>●英語 II</li> <li>●薬の効き方 I</li> <li>●薬の効き方 II</li> <li>●疾患と治療 II・III・IV</li> <li>●製剤学</li> <li>●医薬品化学</li> </ul>			
実習科目群		<ul style="list-style-type: none"> <li>●化学系基礎実習</li> <li>●生物系基礎実習</li> <li>●化学系応用実習</li> <li>●分析系基礎実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物系応用実習</li> <li>●物理系基礎実習</li> <li>●物理系応用実習</li> <li>●分析系応用実習</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●実務実習 I・II</li> </ul>	
臨床系科目群		<ul style="list-style-type: none"> <li>●臨床心理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●臨床コミュニケーション</li> <li>●病態栄養学</li> <li>●栄養学</li> <li>●運動療法学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護・看護・緩和医療</li> </ul>		
演習科目群		<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎薬学演習 I</li> <li>●基礎薬学演習 II</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎薬学演習 III</li> <li>●基礎薬学演習 IV</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎薬学演習 VII</li> </ul>		
薬学準備教育部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎統計学</li> <li>●基礎物理学</li> <li>●基礎化学 I</li> <li>●基礎生物学</li> </ul>					
薬学アドバンスト					<ul style="list-style-type: none"> <li>●救命救急・院内感染予防</li> <li>●臨床薬局学 I</li> <li>●臨床薬局学 II</li> <li>●臨床栄養</li> </ul>	

区分	授業科目					
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
教育部門					療法学 ●インターンシップ ●カルテを読む	
薬学研究科目群					●医療英語コミュニケーション ●臨床医薬品情報学 ●臨床薬物動態学 ●臨床病態制御学	
応用薬学科目群						●医療の最前線 ●薬剤師の専門性
総合薬学教育部門					●薬学卒業研究	●薬学卒業研究・演習 ●薬学特別講義
関連教育部門						

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

### 医薬品開発受託、治験支援業種分野で活躍する薬剤師をめざす

想定される具体的な進路・職種	臨床開発モニター（CRA）、治験コーディネーター
----------------	--------------------------

薬学部では全国薬系大学で定められている薬学教育モデル・コアカリキュラムを基本として幅広い知識を身に付けるためのカリキュラムを編成しています。薬剤師倫理教育科目・薬学準備教育科目・基礎薬学教育科目・薬学専門教育科目・統合型薬学教育科目・実務実習教育科目・薬学研究教育科目・語学（英語）教育科目を学習することによって、薬学の確かな知識・技能と豊かな人間性と倫理観を身に付けます。製薬会社の要望に基づき臨床試験を企画、臨床試験のチェック、データの集計・解析業務を行う薬剤師（CRA）や、医療機関に出向き医師と患者の間に立ち治験を調整・監視する薬剤師（CRC）をめざす人のための履修モデルです。

●：選択科目   ●：選択必修科目   ●：必修科目

区分	授業科目					
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
全学共通教育部門	健康とスポーツ科学 ●健康・スポーツ科学Ⅰ ●健康・スポーツ科学Ⅱ					
専門	統合型薬学教育部 ●薬学入門Ⅰ			●薬物治療学		

区分	授業科目					
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
薬学 教育部 門	●薬学入門 II			●文献講読 セミナー ●基礎薬学 総論 ●実務実習 事前講義・ 演習		
基幹科目 群	●物理科学 I ●基礎化学 II ●有機薬化 学 I ●機能形態 学 I ●機能形態 学 II ●生化学 I	●物理化学 II・III ●薬用植物 と生薬 ●有機薬化 学 II・III ●構造解析 学 ●機能形態 学 III ●免疫学 ●生化学 II・III ●薬物動態 学 I ●基礎薬学 英語 I ●生理活性 分子 ●薬局方試 験法 ●製剤学 I ●医薬資源 化学 ●分析化学 ●微生物学 ●疾患と治 療 II ●分子生物 学 I・II ●環境科学 ●医療制度 論	●薬物動態 学 II ●臨床微生 物学 ●製剤学 II ●医薬品情 報 ●生物有機 化学 ●製剤開発 論 ●感染予防 学 ●製剤設計 学 ●公衆衛生 学 ●医療法規 ●衛生化学 I ●衛生化学 II ●基礎薬学 英語 II ●薬の効き 方 I ●薬の効き 方 II ●疾患と治 療 II・III・ IV ●製剤学 ●医薬品化 学	●薬物投与 設計 ●和漢医薬 学		
実習科目 群		●化学系基 礎実習 ●生物系基 礎実習 ●化学系応 用実習 ●分析系基 礎実習	●生物系応 用実習 ●物理系基 礎実習 ●物理系応 用実習 ●分析系応 用実習		●実務実習 I・II	
臨床系科 目群		●臨床心理 学 ●運動生理 学	●病態栄養 学 ●運動療法 学 ●臨床コ ミュニケー ション ●栄養学			
演習科目 群		●基礎薬学 演習 I	●基礎薬学 演習 V ●基礎薬学	●基礎薬学 演習 VII		

区分	授業科目					
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
			演習Ⅲ ●基礎薬学 演習Ⅳ			
薬学準備 教育部門	●基礎統計学 ●基礎物理学 ●基礎化学Ⅰ ●基礎生物学					
薬学 アドバ ンスト 教育部 門	実用薬学 科目群				●臨床薬局 学Ⅰ ●臨床薬局 学Ⅱ ●救命救 急・院内感 染予防 ●臨床栄養 療法学 ●カルテを 読む	
	薬学研究 科目群				●医療英語 コミュニケーション ●臨床医薬 品情報学 ●臨床薬物 治療学 ●環境生物 制御学	
	応用薬学 科目群					●医療の最 前線 ●薬剤師の 専門性
総合薬学教育 部門					●薬学卒業 研究	●薬学卒業 研究・演習 ●薬学特別 講義
関連教育部門						

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

### 行政分野で活躍する薬剤師をめざす

想定される具体的な進路・職種	公務員など
----------------	-------

薬学部では全国薬系大学で定められている薬学教育モデル・コアカリキュラムを基本として幅広い知識を身に付けるためのカリキュラムを編成しています。薬剤師倫理教育科目・薬学準備教育科目・基礎薬学教育科目・薬学専門教育科目・統合型薬学教育科目・実務実習教育科目・薬学研究教育科目・語学（英語）教育科目を学習することによって、薬学の確かな知識・技能と豊かな人間性と倫理観を身に付けます。薬剤師の知識を活かして、いろいろな職場を経験し実績を積み上げる公務員や、地方公務員では免許資格職として保健所や衛生研究所などで

薬剤師としての業務を行う公務員をめざす人のための履修モデルです。

●：選択科目 ●：選択必修科目 ●：必修科目

区分		授業科目					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
全学 共通 教育部 門	健康とスポーツ科学	●健康・スポーツ科学 I ●健康・スポーツ科学 II					
	統合型薬学教育部門	●薬学入門 I ●薬学入門 II			●薬物治療学 ●文献講読セミナー ●基礎薬学総論 ●実務実習事前講義・演習		
	基幹科目群	●物理科学 I ●基礎化学 II ●有機薬化学 I ●機能形態学 I ●機能形態学 II ●生化学 I	●物理化学 II・III ●薬用植物と生薬 ●有機薬化学 II・III ●構造解析学 ●機能形態学 III ●免疫学 ●生化学 II・III ●薬物動態学 I ●基礎薬学英語 I ●生理活性分子 ●薬局方試験法 ●製剤学 I ●医薬資源化学 ●分析化学 ●微生物学 ●疾患と治療 II ●分子生物学 I・II ●環境科学 ●医療制度論	●薬物動態学 II ●臨床微生物学 ●製剤学 II ●医薬品情報 ●生物有機化学 ●製剤開発論 ●感染予防学 ●製剤設計学 ●公衆衛生学 ●医療法規 ●衛生化学 I ●衛生化学 II ●基礎薬学英語 II ●薬の効き方 I ●薬の効き方 II ●疾患と治療 II・III・IV ●製剤学 ●医薬品化学	●薬物投与設計 ●和漢医薬学		
実習科目群		●化学系基礎実習 ●生物系基礎実習 ●化学系応用実習 ●分析系基	●生物系応用実習 ●物理系基礎実習 ●物理系応用実習 ●分析系応		●実務実習 I・II		



区分	授業科目					
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
		礎実習	用実習			
臨床系科目群		●臨床心理学	●臨床コミュニケーション ●栄養学 ●病態栄養学	●介護・看護・緩和医療 ●臨床倫理学		
演習科目群		●基礎薬学演習Ⅰ ●基礎薬学演習Ⅱ	●基礎薬学演習Ⅵ ●基礎薬学演習Ⅲ			
薬学準備教育部門						
薬学アドバンスト教育部門	実用薬学科目群				●インターンシップ ●臨床薬局学Ⅰ ●臨床薬局学Ⅱ ●臨床栄養療法学	
	薬学研究科目群				●環境生物制御学 ●医療英語コミュニケーション ●薬用資源制御学 ●臨床薬物治療学	
	応用薬学科目群					●医療の最前線 ●薬剤師の専門性
	総合薬学教育部門				●薬学卒業研究	●薬学卒業研究・演習 ●薬学特別講義
関連教育部門						

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

### 薬学研究分野で活躍する薬剤師をめざす

想定される具体的な進路・職種	大学院博士課程学生
----------------	-----------

薬学部では全国薬系大学で定められている薬学教育モデル・コアカリキュラムを基本として幅広い知識を身に付けるためのカリキュラムを編成しています。薬剤師倫理教育科目・薬学準備教育科目・基礎薬学教育科目・薬学専門教育科目・統合型薬学教育科目・実務実習教育科目・薬学研究教育科目・語学（英語）教育科目を学習することによって、薬学の確かな知識・技能と豊かな人間性と倫理観を身に付けます。薬学部大学院博士課程への進

学、あるいは他大学の大学院博士課程へ進学し、将来において大学での教育・研究職、研究所研究職、製薬会社での研究・開発職をめざす人のための履修モデルです。

● : 選択科目   ● : 選択必修科目   ● : 必修科目

区分		授業科目					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
全学 共通 教育部 門	健康とスポーツ科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康・スポーツ科学 I</li> <li>●健康・スポーツ科学 II</li> </ul>					
	統合型薬学教育部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬学入門 I</li> <li>●薬学入門 II</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬物治療学</li> <li>●文献講読セミナー</li> <li>●基礎薬学総論</li> <li>●実務実習 事前講義・演習</li> </ul>		
	基幹科目群	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物理科学 I</li> <li>●基礎化学 II</li> <li>●有機薬化学 I</li> <li>●機能形態学 I</li> <li>●機能形態学 II</li> <li>●生化学 I</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物理化学 II・III</li> <li>●薬用植物と生薬</li> <li>●有機薬化学 II・III</li> <li>●構造解析学</li> <li>●機能形態学 III</li> <li>●免疫学</li> <li>●生化学 II・III</li> <li>●薬物動態学 I</li> <li>●基礎薬学英語 I</li> <li>●生理活性分子</li> <li>●薬局方試験法</li> <li>●製剤学 I</li> <li>●医薬資源化学</li> <li>●分析化学</li> <li>●微生物学</li> <li>●疾患と治療 II</li> <li>●分子生物学 I・II</li> <li>●環境科学</li> <li>●医療制度論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬物動態学 II</li> <li>●臨床微生物学</li> <li>●製剤学 II</li> <li>●医薬品情報</li> <li>●生物有機化学</li> <li>●製剤開発論</li> <li>●感染予防学</li> <li>●製剤設計学</li> <li>●公衆衛生学</li> <li>●医療法規</li> <li>●衛生化学 I</li> <li>●衛生化学 II</li> <li>●基礎薬学英語 II</li> <li>●薬の効き方 I</li> <li>●薬の効き方 II</li> <li>●疾患と治療 II・III・IV</li> <li>●製剤学</li> <li>●医薬品化学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬物投与設計</li> <li>●和漢医薬学</li> </ul>		
実習科目群		<ul style="list-style-type: none"> <li>●化学系基礎実習</li> <li>●生物系基礎実習</li> <li>●化学系応用実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物系応用実習</li> <li>●物理系基礎実習</li> <li>●物理系応用実習</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●実務実習 I・II</li> </ul>		

区分	授業科目					
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
		●分析系基礎実習	●分析系応用実習			
臨床系科目群		●臨床心理学	●臨床コミュニケーション ●病態栄養学 ●栄養学 ●運動療法学	●介護・看護・緩和医療		
演習科目群		●基礎薬学演習Ⅰ ●基礎薬学演習Ⅱ	●基礎薬学演習Ⅲ ●基礎薬学演習Ⅳ ●基礎薬学演習Ⅴ ●基礎薬学演習Ⅵ	●基礎薬学演習Ⅶ		
薬学準備教育部門						
薬学アドバンスト教育部門	実用薬学科目群				●臨床栄養療法学 ●臨床薬局学Ⅰ ●臨床薬局学Ⅱ ●救命救急・院内感染予防	
薬学研究部門	薬学研究科目群				●機能分子探索化学 ●機能分子合成化学 ●薬用資源制御学 ●臨床病態制御学 ●医療英語コミュニケーション	
	応用薬学科目群					●医療の最前線 ●薬剤師の専門性
総合薬学教育部門						
関連教育部門						

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。